

愛道

あいどう

第135号

2020 令和2年9月

社会福祉法人
足羽福祉会

共に生き 共に集う 光を求めて



特集

思いやり ～マスクをいただいで～

〔取組レポート〕 あすわ児童発達支援センター・足羽更生園・グループホーム美山

朝から元気!!



癒しの笑顔☆



総務課の母♡

お寿司は混ぜ方が肝心よ!!



はじける笑顔



お友達にタッチ!



笑顔満点

～職員的笑顔を集めました～

厨房美人4姉妹



つかの間の休息!(^^)!



こちょこちょ大好き☆

目次 もくじ

- 2 笑顔満点 ～職員的笑顔を集めました～
- 4 児童発達支援における医療的ケア児の生活支援
… あすわ児童発達支援センター
- 6 新たな環境でのスタート
～利用者の方、そして地域の方々の安心のために～
… 足羽更生園
- 8 思いやり ～マスクをいただいて～ … グループホーム美山
- 10 あすわの木・あすわの実 通信
- 11 新卒・キャリア採用 実施中
- 12 アニュアルレポート2019完成
- 13 平成31年度足羽福祉会決算報告
- 14 愛のささえ



「表紙について」

自然に囲まれた美山の地で、暑さを吹き飛ばしながら働いている、グループホーム美山の職員です。これからも、力を合わせて頑張ります！(グループホーム美山 川端)

児童発達支援における 医療的ケア児の生活支援

就学前のお子様ご利用の対象である児童発達支援では、医療的なケアを必要とするお子様もご利用になっています。集団および社会参加の場等としての機能や役割を担いつつ、お子様の健康や成長をサポートさせていただいています。

医療的なケアを必要とするお子様およびそのご家族の地域での生活を支えていくために、フレンズあすわの児童発達支援で医療的ケアを含めた生活支援を始めた背景について簡単に触れ、当事業所でのお子様の生活やサポート内容等についてご紹介します。

医療的ケア児とは

医療的ケア児とは、生活の中で「医療的なケア」を必要とするお子様のことを指します。

医療的ケアとは、病院以外の場所で、家族等が医療的ケア児に対し、健康を守っていくために行う医療的な援助のことです。

例えば、気管に溜まった「たん」を吸引する「たん吸引」、口から食事が摂れない場合に、チューブを使って、鼻やお腹から胃に直接栄養を送る「経管栄養」、呼吸のしづらさ・負担を軽減する「酸素吸入」などがあります。いずれも医療行為にあたるため、医師の指示のもと、看護師等による対応が必要となります。



地域支援体制について

以前は、医療的ケア児の地域生活を支える環境や体制はまだ整っておらず、地域の保育園や学校等で過ごすことは難しく、医療機関やご家庭で支えられてきました。また、医療型の通所支援施設はありましたが、数も少なく、利用できないお子様がいる等の課題がありました。

このような背景から、近年、福祉での対応が求められるようになってきています。

フレンズあすわでは、これまでに福祉型の児童発達支援事業所として、支援に取り組んできていることから、そのノウハウを活かしつつ、医療的ケアの対応が可能な看護師を配置することによって、保育園等に通うことが難しいお子様達の活動や同年代の子達との交流の場を提供させていただいています。

事業所での生活について

週3日ご利用しているAさん。通い出して間もないころは、家庭以外での初めての生活に緊張している様子がありませんが、今では、フレンドアすわでの生活に慣れて、笑ったり、お話をしてくれます。

左図にあるように、看護師や保育士等が協働しながら、Aさんの健康と成長をサポートしています。

9:00	来所・検温・排泄(処置) 運動・身体ケア	
9:30	朝の会・活動(絵本・手遊び歌)	
10:00	おやつ 排泄(処置)	
10:20	活動	
11:15	昼食 はみがき	
12:00	排泄(処置)	
12:30	お昼寝	
14:30	起床・検温	
15:00	排泄(処置) おやつ	
15:30	運動・身体ケア 排泄(処置)	
16:00	お迎え	

1日の流れ



家族と共に

来所時やお迎えの際に、ご家族と話をする機会を持たせていただいています。その日の体調をはじめ、活動時や交流時の様子などを丁寧にお伝えするようにしています。また、ご家族から相談を受けることもあります。さらに、ご家族の就労を支えるといった機能もあり、家族のサポートも大事な役割となっています。

今後、地域での暮らしの選択として、就園や就学といったこともあるかと思えます。そのようなとき、ご家族と相談を重ねながら『支援の引き継ぎ』や『連携のサポート』等、丁寧に行っていきたく考えています。

フレンドアすわさんを利用させてもらってから、すごく活発になり、いろいろなことに興味をもてるようになってきました。多くの方がかわってくれているのだから、とてもうれしく感じ、さらに私達家族の話を一つひとつ丁寧に聞いてもらえ、安心・信頼しています。

ご家族様

Aさんは、フレンドアすわで医療的ケアの児童発達支援を開始して、初めての利用者の方でした。利用の初日、お互いに緊張していたのをよく覚えています。医療的および身体的ケア・発達支援とその日の体調に合わせて行わせていただいています。幼少期の大切な時期を一緒に過ごせることをうれしく思っています。

担当看護師

新たな環境でのスタート

～利用者の方、そして地域の方々の安心のために～



約1年7か月あまりの期間を経て足羽更生園新築工事の全工程がこのたび完了しました。令和元年7月の居住棟完成後、第2期工事として共通棟の建設に着手し、令和2年3月30日に足羽更生園竣工式（神事）を執り行いました。本来ならば地域の皆さまにお披露目の場を設けさせていただき予定をしておりましたが、コロナ禍の折、新たに完成した共通棟に整備された厨房設備と、地域交流スペース（兼「福祉避難所」）の機能についてご紹介します。

クックチルが導入された新厨房設備

クックチルとは、加熱調理

した食品を急速冷却し、食事の時間に合わせて再加熱し提供する調理システムです。従来の食事提供はクックサーブ（提供するタイミングに合わせて当日調理する方式）でしたが、さまざまな形態・種類の食事がある当園の場合、クックサーブは作業が煩雑になりやすく安全性の確保が大変などの課題がありました。

一方、クックチルは、ピークではないときに準備してお



くことができ、提供の際には最終加熱するだけなので、提供直前の作業時間を大幅に短縮でき、計画的に調理をすることで、調理場での作業の平準化ができ、メニューの幅が広がったり、利用者の方によりきめ細かい対応ができるというメリットがあります。調理員は専門家の指導を仰ぎながら課題の改善を行い、合理化と利用者の方の食の安心につながるよう一歩一歩業務を進めていきます。

福祉避難所として

当法人の愛全園、足羽利生苑、足羽学園、足羽更生園は以前から福井市と福祉避難所としての協定を結んでいます。これに加え、当園の共通棟3階地域交流スペースも同じく認定をいただきました。

今回は、災害時に活躍する福祉避難所とはどのような所かをご紹介します。



足羽学園・足羽更生園 地域交流スペース(福祉避難所)



バリアフリー

耐震性・耐火性

生活に必要な蓄え

対象／宿布町・前波町にお住まいの

- ・要援護者（一般の避難所では生活が困難な方々）
- ・避難所まで向かう事が困難な方

福祉避難所って どんなところ？



福祉避難所とは、災害時に障害者や高齢者、乳幼児や妊婦など一般の避難所では生活に支障をきたす方（要援護者）が避難生活をするために特別な配慮のされた避難所です。要援護者にとって、災害時で生活環境が整っていない場所

で生活することは不便な点が多くあります。そこで、そういう方々が生活しやすい

よう、手すりやスロープ等のバリアフリーをはじめとした、さまざまな配慮がなされているとともに、耐震性や耐火性などの安全性も保障された避難所です。

120名×3日分。



この数字は、災害時用の食料の備蓄量です。当園では、120名が3日間過ごせるだけの飲料水と非常食を備え

てあり、その消費期限も常に管理されています。また、定期的に炊き出し訓練を実施しており、円滑な食事の提供が可能となります。

防災無線で できること。



当園では、防災無線の鍵を預かっており、地震・水害で道路や電話回線が寸断された場合でも、市と通信することが可能です。どの地区の誰が、また何名が、当園に避難しているのかという情報を伝えると共に、必要な救済物資を市に要請することも可能となります。

AED、あります。



当園ではAEDを2台備えており、普通救命講習を修了した職員が24時間365日常駐しています。

まとめ

今回の新築工事におきまして、新たに地域の皆様に施設の一部を活用していただく目的で「地域交流スペース」(185.31㎡)を共通棟3階に設けさせていただきました。本スペースは、災害時における「福祉避難所」として、またコロナ禍が終息の暁には、会議や研修の場としてご利用いただけるよう考えております。

今後、地域の皆さまとのつながりを大切に取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

足羽更生園
サブゼネラルマネージャー
岡崎 ゆかり





マスクをいただいで



新型コロナウイルスが猛威をふるい、私たちの暮らしをおびやかすなか、感染予防の一つとして使用していたマスクが各地で不足するなど、深刻な問題が発生しました。そのようなときに、貴重なマスクを手作りし、当事業所に沢山寄付してくださった方がいます。地域にお住まいの長瀬なつ子さんです。ご自身のマスクも手に入りづらい状況のなか、どのような思いでマスクを寄付されたのか、インタビューを交えてご紹介します。



救いの手

ふだんの何気ない日常生活を、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい一変させました。感染するかもしれないという不安がつきまとう日々、感染リスクを減らすための情報が飛び交っています。また、世界的にマスクの買い占めが起こるなど、グループホーム美山でも、マスクの確保をどうするのかという問題に直面していました。そのような中、当事業所にたくさんのお手作りマスクを寄付してくださった長瀬さん。寄付にいたるまでの経緯など、電話でお話を伺いました。

長瀬さんの思い

● マスクを作ろうと思ったきっかけは何ですか？

「コロナウイルスでマスクが買えないなか、自宅にガー

ゼ生地でも未使用の浴衣があり、これでマスクを作ったらどうだろうというのがきっかけで作り始めました」

● たくさんさんのマスクを寄付してくださいましたが、作成するのは大変だったのではないのでしょうか？

「マスクを作成するのは初めてのこと、上手くできな不安もありましたが、昔から洋裁をしていたせいかスムーズに作成することができました。作り始めたら楽しくなってしまうので、どんどん数が増えていったので、それを何か役に立てられないかと思い、寄付することにしたんです」



● マスクの寄付は他にもさ
れているのですか。また、
当事業所へ寄付しようと
思ったのはなぜですか？

「自宅から近くの羽生小
学校へも寄付させていただ
きました。グループホーム美
山へ寄付させていただいたの
は、毎週木曜日、そこで開催
されていたカフェに参加さ
せていただいた、大変お世話に
なつたからです。柄物のマス
クで申し訳ないけれど、使っ
てくださいね。コロナウイル
スの影響で、カフェが開催で
きない状況でもあるけれど、
いつも楽しみにしていたから
再開が待ち遠しいです」

地域密着型を
活かして

マスクの寄付は、事業所で
開催されていたカフェがきつ
かけとのことで、地域との交
流が結んだご縁であること
を大変うれしく思います。こ
んな時だからこそ、自分のこ
とだけではなく、思いやりの
気持ちをもって、皆で助け合
わなくてはいけないというこ
とを、改めて考えさせられま
した。

マスクの活用

今回、長瀬さんからは数
えきれないほどのマスクをい
ただきました。あたたかい心
遣いに感謝いたします。なか
には子供用マスクもありま
したので、有効に活用させて
いただくために、足羽福祉会
法人本部と、足羽学園にも
寄贈させていただきました。



長瀬 なつ子さん
お忙しい中、インタビューに快く応じてくださり、
話している間もよく笑う気さくな方でした。



H30.11.22 美山カフェ陶芸教室



子供用マスクを
足羽学園へ



足羽福祉会法人本部

感染症拡大という不安が
不安を呼び、人との接触を
避ける事が求められまし
た。そのような中、このたび
のマスクの寄付は、感染症
予防もさることながら、人
の温かみに触れる思いが、
この状況を乗り越える希望
を与えてくれました。
感染症の終息は、なかな
か見通せません。しかし、人
が人を想うことには変わり
はありません。元の形には
戻れなくても、新たな活動
を模索していきたいと考
えています。
感染症拡大が始まるう
とした時期にいち早くマス
クを寄付して下さった長
瀬さん。また、ほかの地域の
方々からも多数の布マスク
を寄付して頂きました。こ
の場をお借りしてお礼申し
上げたいと思います。あり
がとうございました。

グループホーム美山
ゼネラルマネージャー

藤原 行順

地産地消でふくいを応援！

心を込めて、提供しています！



秋限定!
2020秋のピタパン (「昇竜舞茸」「カボチャコロッケ」「こしのルビー」)
350円(税込み)



三国ファットリア農園産 こしのルビーを使用
こしのルビーをベースにしたチキンと野菜のトマトカレー
800円(税込み)



あすわの木

Free Space あすわの木

【住 所】福井県福井市下馬町51-11 福井県立図書館内
【電 話】080-9430-3795
【営業時間】10:00 ~ 16:00 (15:30LO)
【定 休 日】県立図書館休館日に準ずる

新卒・キャリア採用 実施中!!



※令和2年
3月以前に撮影

募集職種

〈新卒〉
介護職／生活支援職／保育職／総合職
〈キャリア〉
HP内募集要項を参照

採用説明会

個別説明会を随時実施(予約制)
オンラインで自宅からの
参加も可能です

就職に関連した 職場実習／見学

受入可能(一部制限有)

誰もが働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいます。



社員ファースト企業



子育てファミリー応援企業



ふくい女性活躍推進企業+

会社説明動画を
配信中!!



個別WEB説明会
はこちら



〈連絡先〉社会福祉法人足羽福祉会 法人本部事務局
Tel:0776-41-3108 Mail:jinzai@asuwafukushikai.jp
採用担当／石川・丹代

平成31年度 足羽福祉会 年次報告書(アニュアルレポート2019)を作成しました



☆当法人のホームページでも公開を予定しています。

このアニュアルレポート(年次報告書)は、社会福祉法人足羽福祉会の事業や活動、実績等について、年度内の取り組みを説明・紹介し、地域の方々・関係団体の皆様に当法人の姿を理解していただくことを目的に作成しております。毎回内容の見直しを行い、よりわかりやすく見やすいレポート作りを心がけました。

令和2年度 足羽福祉会 新任職員紹介 ～「今、一番やってみたいこと」を聞いてみました。～

前号(134号)でご紹介できなかったお二方をご紹介します。

愛全園



さとう めぐみ
佐藤 恵美

生活相談員

健康維持の為、ウォーキングをやりたい。

福井大東包括支援センター



たかはし かおり
高橋 香織

保健師

ジャニーズの全グループのライブに参戦すること。

平成31年度社会福祉法人足羽福社会の財務諸表を公開します。

令和2年6月5日開催の理事会にて承認されたものを簡略化した内容となっております。

貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

科目	金額(千円)	科目	金額(千円)
資産の部		負債の部	
流動資産	1,529,611	流動負債	1,142,121
固定資産	3,604,506	固定負債	516,641
基本財産	1,944,210	負債の部 合計	1,658,762
その他の固定資産	1,660,295	純資産の部	
		基本金	155,158
		国庫補助金等特別積立金	792,821
		その他の積立金	156,707
		次期繰越活動増減差額	2,370,668
		(うち当期活動増減差額)	(135,947)
		純資産の部 合計	3,475,354
資産の部 合計	5,134,116	負債及び純資産の部 合計	5,134,116

事業活動計算書

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

科目	金額(千円)
サービス活動収益計	2,929,373
サービス活動費用計	2,913,252
サービス活動増減差額	16,121
サービス活動外収益計	12,697
サービス活動外費用計	4,190
サービス活動外増減差額	8,507
経常増減差額	24,628
特別収益計	360,874
特別費用計	521,449
特別増減差額	-160,575
当期活動増減差額	-135,947
前期繰越活動増減差額	2,197,417
当期末繰越活動増減差額	2,061,470
その他の積立金取崩額	380,405
その他の積立金積立額	71,207
次期繰越活動増減差額	2,370,668

資金収支計算書

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

科目	金額(千円)
事業活動収入計	2,941,864
事業活動支出計	2,723,107
事業活動資金収支差額	218,757
施設整備等収入計	660,490
施設整備等支出計	1,218,186
施設整備等資金収支差額	-557,697
その他の活動収入計	384,803
その他の活動支出計	81,572
その他の活動資金収支差額	303,231
当期資金収支差額合計	-35,709
前期末支払資金残高	670,812
当期末支払資金残高	635,103

当法人のホームページでも公開していますのでご覧ください。

URL : <https://www.asuwafukushikai.jp/>

愛のささえ

ご協力ありがとうございました

令和2年4月1日から令和2年7月31日までの方々を掲載させていただきました。

【法人本部事務局】

- (寄付・寄贈) 笈田忠夫 平川和正 山口知義 堀江清弘 堀江清正 笠原英雄 意元泉美 坪田慎一 松宮幸嗣 中野浩 安崎昌治 高木孝之 横井康孝 大旗浩二 日置真斉 宮永真孝 北村有史 橋本智哉 清水照史 松田将治 矢野猛 中西健一 神戸孝浩 多田明恵 加藤素子 鈴木孝二 呉明美 片岡由季子 道願蒼空 青山千里 中道慎也 久嶋秀治

【足羽東こども園】

- (寄付・寄贈) 一条谷朝倉氏遺跡活用推進協議会 公益社団法人福井青年会議所 (ボランティア・交流・訪問) 移動図書館フェニックス号 (研修・実習・見学) 酒井亜実子 坪田真実

【足羽ワークセンター・スマイル・カラフル・足羽サポートセンター・パステル】

- (研修・実習・見学) 福井大学教育学部附属特別支援学校 (寄付・寄贈) 福山智基 連合福井 株式会社 アイル・シヤップルズ

【あすわ児童発達支援センター】

- (寄付・寄贈) 波多野幸穂 尾谷輝雄 松川美智代 (研修・実習・見学) 新井豊吉 永平寺町社会福祉協議会

【愛全園】

- (寄付・寄贈) 北政治 北壽美子 齊藤良昭 第一生命保険株式会社 (研修・実習・見学) 木内愛美 西岡瑞帆

【足羽利生苑】

- (寄付・寄贈) 岡本秀樹 岡本克己 村田清範 小田成一 (ボランティア・交流・訪問) 戸嶋聡美

【グループホーム美山】

- (寄付・寄贈) 長瀬なつ子 吉川洋子 家接忠 足羽第一中学校 酒生公民館



(職員へマスクをご提供)

順不同・敬称略

編集後記

● 梅雨も明け、暑い日が続きますが、暑さに負けず頑張ります！
児玉(こ)

● 暑いですね。早く遠出できる日がきますように！
濱岸(ワ)

● はやくお出かけしたいな。夏が終わりますね。泣
黒木(学)

● 夜な夜な動画配信サービスを見ながらお酒を飲むのが最近の癒しです。笑
杉本(更)

● カメラ始めました。楽しすぎて大変...
山口(地)

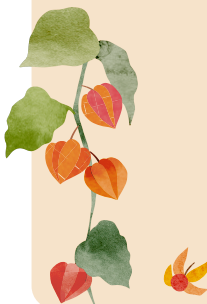
● 新しい生活様式の中で安全にできることをしていきたいと思います。
齊藤(児)

● 梅雨が明けて、日ごとに蒸し暑い毎日が続きます。暑さに負けず皆様、頑張りますよ。
堀(愛)

● 夫婦水入らずで東北旅行に行ける日を楽しみにしています。今は、マスクに消毒と窮屈な毎日ですが笑顔で乗り切りましょう。
木田(利)

● 当たり前の生活がとても大事に思えるようになりまし。家族で海外旅行、行ける日が来ますように。
川端(美)

● 家の近くでゲリラ花火があることを切に願っています。
丹代(本)



社会福祉法人 足羽福祉会 <https://www.asuwafukushikai.jp/> 法人本部 福井県福井市榎野町20-7 TEL (0776)41-3108

子ども福祉

- ・ 啓明児童クラブ
- ・ 上文殊児童クラブ
- ・ 足羽東こども園
- ・ 足羽学園
- ・ 子ども発達支援センター フレンズあすわ
- ・ フレンズみゆき
- ・ フレンズどれみ

障がい者福祉

- ・ あすわ相談支援事業所リアン
- ・ 足羽更生園
- ・ 足羽ワークセンター
- ・ スマイル
- ・ カラフル
- ・ 足羽サポートセンター
- ・ パステル
- ・ あすわ第1、あすわ第2、あすわ第3 グループホーム(共同生活援助)

高齢者福祉

- ・ 福井大東包括支援センター (ほやねっと大東)
- ・ 愛全園
- ・ 足羽利生苑
- ・ グループホーム美山